

グランデコススキー場：(パウダー練習) 報告

【山城】福島県・裏磐梯グランデコススキー場

【日時と天気】2018年12月29日 雪時々止む・低温

【メンバー】CL 菊池・住田・瀧瀬・川上・会員外1名

【行程】

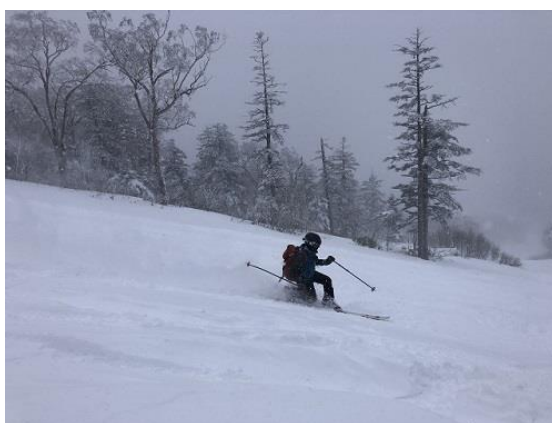
千葉—猪苗代IC—グランデコススキー場駐車場—スキー場トップ—ゲレンデ滑走—第4ク
ウッドリフト下シール登高—ゲレンデパウダー練習—ゲレンデ滑走—駐車場—帰葉



・12/29は毎年のように山スキーツアーに行っている。昨年は降雪量が多く、この時期に早くも鍋倉山のブナ林ツアーを楽しめた。神楽へ行くことが多く今年も神楽を第一候補に挙げていたが、強い冬将軍の到来で厳しい気象状況のため、他のエリアへの変更が必須、参加メンバーの力量からゲレンデ練習主体と考えると丸沼や川場スキー場も考えたが、湯沢地区と同様、降雪量が半端なく、直前に降雪量が比較的少なくゲレパウ練習ができそうなグランデコに行くことにした。チーム福島がこの日西大巔へのツアーを予定していたため、お会いできるかもと考えながら東北道を進んだ。関越道は交通量も多く、雪害などの影響もありすでに渋滞が発生していたが、東北道は渋滞なく那須高原

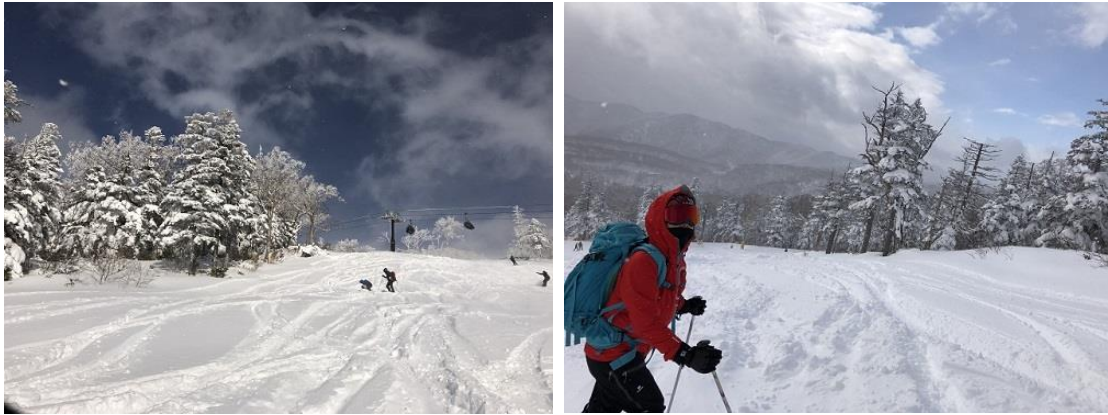
SAで朝食休憩、小雪の舞う寒い朝、白河からチェーン規制となりグランデコへの到着は予定より30分ほど遅くなった。

- まずメンバーの滑りをチェック、基本と各人の欠点矯正のアドバイスをしながらゲレンデを2~3本滑走した。その後まだ運休中の第4クワッドのゲレンデをSさんとシール登高した。ボーダーが2~3人滑走してきた。深い所で60cmほどの激ラッセル、滑走ラインやトレースを辿ってハイクアップ。ピステンが入ってその上に30cmほどの新雪部分もあり、このエリアのラッセルは楽であった。パトロールなどが運転開始準備のためか作業していた。リフト一本分、標高差180mを頑張ってハイクアップ、ピステンの入っていないエリアは深すぎて、センター幅88mmの板では下りラッセル状態である。ファットの方が良かったなあと後悔しきり。それでも斜度が増してくると浮遊感ある、ゆったりニョロニョロターンを刻めて、今回の目標が一先ず達成できて満足できた。Sさんと順番に写真を撮りながら滑走した。忙しいテレマーカーSさんも、深雪テレターンを楽しみシーズンインができ大満足。西大巔に向かったのツアーは気象状況、メンバーの技量から無理であったが、リフトの動いてないゲレンデで激パウを楽しめ、今回の目標の一つゲレパウ滑走ができ大満足であった。

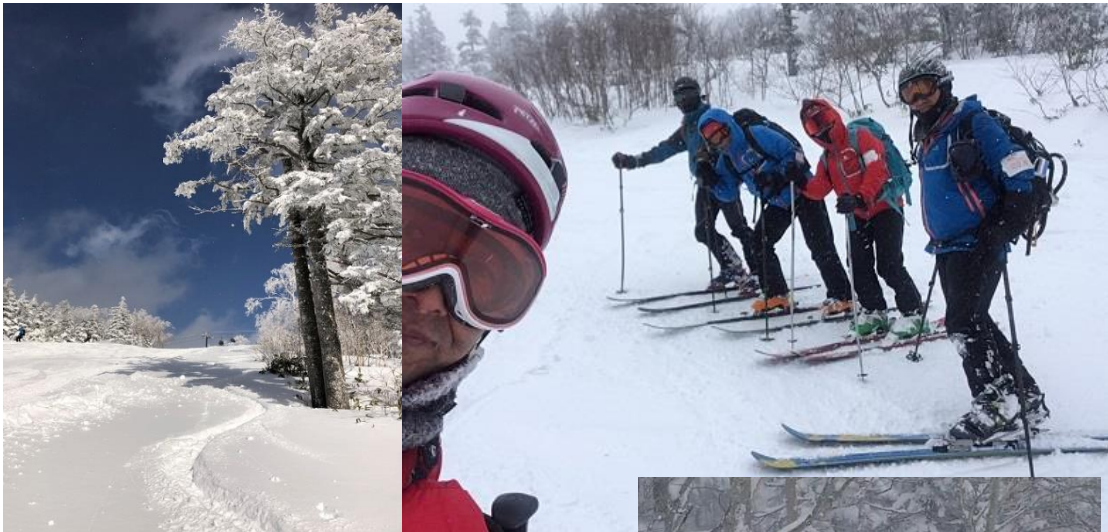


- その後ゴンドラトップのレストランで全員が合流し休憩の後、メンバー全員で再度シール登高をしようと外に出ると、なんと第4リフトの運転が開始されているではないか。多くのボーダーがゲレパウを楽しんでいる、遅れまいとリフト乗り場に向かった。既にギタギタになっていたが、深雪滑走のポイントをアドバイスしながら、気持ちよいフワフワ滑走感を体験でき、メンバーの皆さんも大満足、一時荒れ模様になったが、晴れ間が広がってきて第4クワッドを利用した計4本のパウダー滑走練習を気持ち良くできた。昨シーズンから山スキー仲間に加わり、わがちば山の会員に加わったTさん、アドバイス

された点が少しずつ改善され、経験が少ない深雪滑走もコツをつかみかけてきています。今後の深雪パウダーツアーが楽しみです。晴れ間が広がった景色を眺めて一息ついています。



滑走シュプールが多くあり、出来るだけノトララインを捜して楽しめます。ゲレンデ左端のこのラインが残っており会心のテレターンが刻めました。シーズンインしていましたが、この一本が今シーズンの最高のテレターンでした。条件が良くスイングしてショートテレターンを刻めた満足の本一本でした。大寒波の中、スキーエリアを熟慮して選択、グランデコまで遠征してきた甲斐があった素晴らしい一日で皆さん大満足でした。



寒波が続き各地で降雪量が激増、一月に入ると本格的にパウダーツアーに入って行けそうですね。次回は1/5~1/6に馬曲温泉(梨の木荘)泊で主に妙高地区でパウダーツアー・合宿予定です。Sさんに撮影していただいた激パウ滑走写真です。深すぎ



パウダーでセンチ 88 mmではやや苦労しましたが、やや急な斜面で何とかターンできます。斜度が緩い所では、浮き沈みのリズムを大きくすれば何とかテレターンできます。厳しい気象条件の中、気合を入れました。

